

パトライトの接続方法

① 制御部の開放

制御部は加工機の上部に取り付けられています。

上部を開放するので加工機上部には何も物を置かないで下さい。レーザーガンステーを取り外して下さい。



次に正面から見て、右側の扉を開けて六角ネジを取り外して下さい。



ネジを取り外すと、車のボンネットと用に加工機上部分を開放できます。



上部背面にはボンネット同様にストッパーが取り付けられています。ストッパーを使って支えて下さい。



② パトライトと接続

付属品

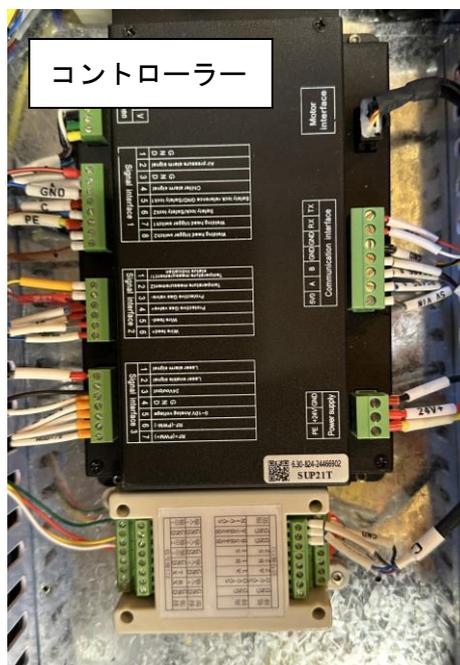
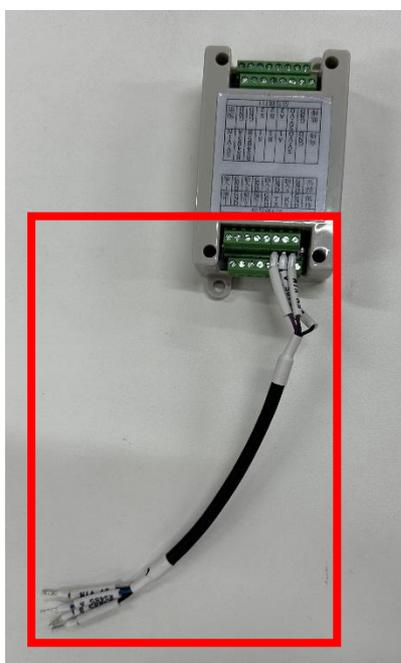
●パトライト



●パトライトコントロールボックス

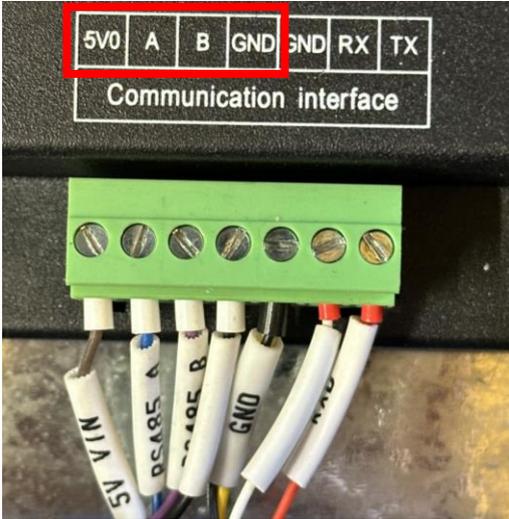


1. パトライトコントロールボックスとコントローラーを接続します。赤枠の配線をコントローラーへ接続します。コントローラーは制御部にある黒色のボックス状のものになります。



「Communication Interface」にある接続箇所へと接続します。

接続する箇所は赤枠箇所になります。配線にそれぞれ明記されている名前と接続箇所の名前が一致するように接続して下さい。



パトライトコントロールボックス

5V出力

RS485-A

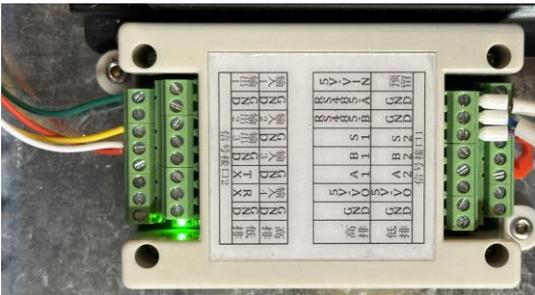
RS485-B

GND

パトライトコントロールボックスとコントローラーの配線の接続ができれば、パトライトの接続を行います。配線は、緑、黄、赤、白、黒があります。

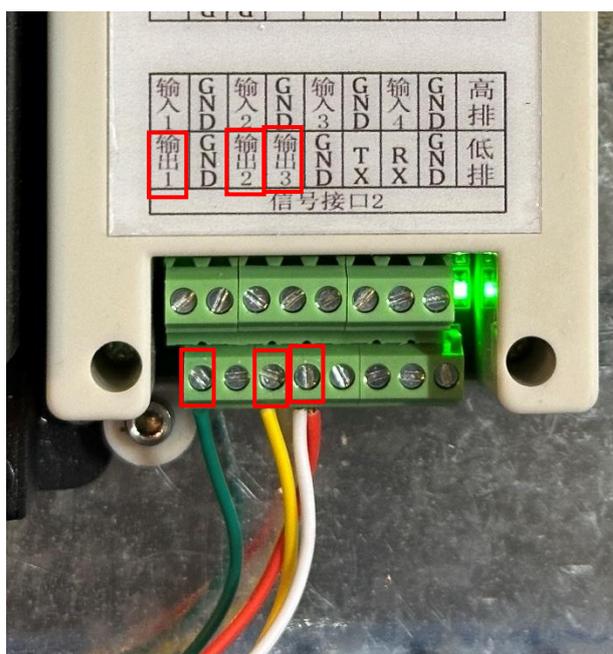


コントローラーとパトライトコントロールボックスへ接続します。



緑色は輸出 1、黄色は輸出 2、赤色と白色は輸出 3、黒色はコントローラーの 24V に接続します。

パトライトコントロールボックス側



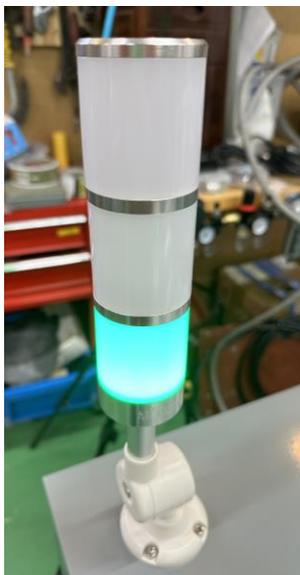
コントローラー側



接続は以上で完了です。本体を起動させて正常に稼働するか確認をして下さい。

③ 本体を起動させて正常に稼働するか確認を行います。下記を確認して下さい。

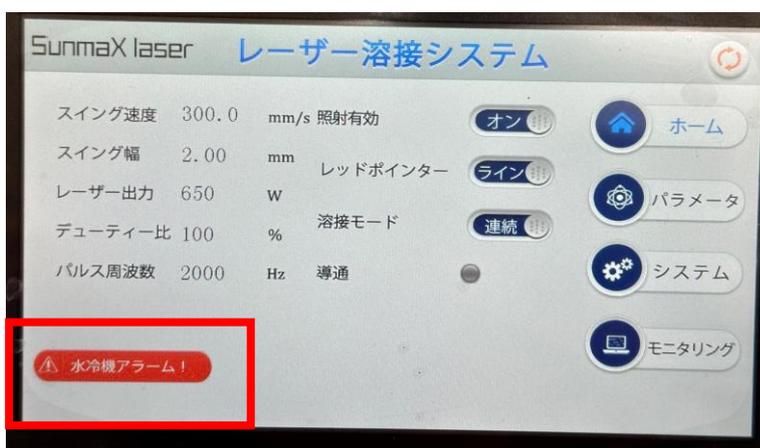
●本体電源を入れて、待機時(レーザーを照射されていない、アラームが発生していない状態)で緑ランプが点灯するか確認。



●レーザー照射時に黄色に点灯する。



- アラーム発生時に赤色に点灯と共にブザーが鳴る。操作パネルのアラームと連動して起動されます。例：水冷機が稼働していないとアラームが発生する(水冷機の電源ボタンが OFF の場合鳴り続けます)



以上を確認して問題が発生しなければ接続完了です。

パトライトの固定はユーザーにて行います。付属する m5 ボルト・ナットを使用して固定して下さい。